

事業名	母と子の発育発達相談事業
-----	--------------

総事業費	1,057 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	子ども・子育て支援の充実
	基本事業名	母子保健の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	支援を必要とする母子に対し、専門スタッフと密に連携した育児支援をすることにより、母親の育児不安の軽減と児の健やかな発育・発達支援を図る。	
事業の実績 と成果	取組内容	妊娠期から成長発達・人格形成の基礎となる就学期までの総合的な健康づくりの普及啓発及び個々の自立助長へ向け、切れ目のない相談体制の充実に取り組んでいる。
	成 果	事業の中止もあったが、定期的な相談の場として利用されている。また、専門職の配置や定期的な相談の場があることで市民も利用しやすい。5歳児健診は就学に向けての相談の場としても活用されている。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	令和5年2月から伴走型支援事業の開始により、より妊娠期からの支援の充実が求められている。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	・子どもの発育や発達・子育ての悩みや不安などによる相談をおこなうことで、両親が安心して育児・子育てができる。 ・健診により、発達に課題のある子どもの早期発見と、その後の必要な支援につなげていく。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	健診や相談を通して、妊娠期・産後・乳幼児期・就学期における支援体制を充実させていく。また、各園や療育施設との連携を図り、情報共有しながら継続的な支援を行う。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	離島地域不妊治療支援事業
-----	--------------

総事業費	763 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	子ども・子育て支援の充実
	基本事業名	母子保健の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	経済的負担の軽減を図ることにより、安心して子供を産み育てる環境づくりを推進する。	
事業の実績 と成果	取組内容	産科医療機関及び保健所と連携し、制度周知のもと申請に結びつけた。
	成 果	令和4年度は7組（9件）の夫婦に対して助成金を支給した。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	令和4年4月から、不妊治療費が保険適用され、これに伴い県及び本市の治療費助成事業は令和4年度をもって全面的に終了となった。なお、離島～本土の交通・宿泊費助成補助金事業は継続される。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	・子どもを望む夫婦が、経済的理由により妊娠をあきらめることがないよう、事業の周知を図るとともに精神的支援も含め継続したい。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	不妊治療に取り組む市民への更なる支援体制の充実を図る。
-----------	-----------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	出産・子育て応援交付金事業（伴走型支援事業）
-----	------------------------

総事業費	11 千円
------	-------

① 計画（Plan）

長期振興計画 の位置づけ	施策名	子ども・子育て支援の充実
	基本事業名	母子保健の推進

② 実施（Do）

事業の意図	出産・育児の見通しをたて、子育ての不安や負担の軽減を図るための面談を実施する。	
事業の実績 と成果	取組内容	出産・育児の見通しをたて、子育ての不安や負担の軽減を図るための面談等を実施する。
	成 果	令和5年2月からの新規事業。令和4年度対象者へのアンケートを行い、現状の把握ができた。必要に応じて面談等を行うことで、妊婦又は産婦の不安の軽減につながった。

③ 振り返り（Check）

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	令和5年2月からの開始であり、令和5年度に向けてより具体的な支援の実施、妊娠期からの支援の充実が求められる。また、伴走型支援が行える従事者の育成も行っていく必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	・ 令和4年度の国の第2次補正予算により事業構築がなされたもので、翌年度以降も継続される。 ・ 本事業は、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに粗した必要な支援へと結びつける伴走型の相談支援の充実を図ろうとするものであり、産婦人科医院はじめ、関係課とも連携を図りながら進めていく必要がある。

④ 改善（Action）

2023年度方向性	妊娠期から出産・子育て期において、対象者に寄り添って関係構築を図り、必要な支援へと結びつける伴走型の相談支援を充実させる。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明